

第2 平成13年度下半期の財政状況

平成13年10月1日～平成14年3月31日

平成13年度下半期に編成された補正予算の主な内容は何ですか。

一般会計予算の補正状況と主な内容

- 1 12月補正予算 7,079百万円 ほか**に債務負担行為** 12,037百万円
繰越明許費 2,596百万円

国の補正予算に盛り込まれた雇用対策やBSE対策などについて、県としても、速やかに必要な予算を受け入れ、遅滞なく実行に移すための予算を計上しました。

また、給与改定経費については、県人事委員会の勧告どおり実施し、減額計上しました。

雇用の創出・安定対策

(緊急地域雇用創出特別交付金の活用による雇用の創出、離職者生活福祉資金制度の創設)

BSE対策

(安全・安心な牛肉の供給体制の確立、食肉流通センターの整備支援)

福祉施設の整備

(放課後児童クラブの整備、介護保険関連施設の整備、保育所の整備)

誘客対策の推進

(能登空港の需要拡大に向けた広報活動の強化、加賀百万石博の開催準備)

公共工事の通年施工対策(ゼロ国債、ゼロ県債、繰越明許費)

給与改定 期末・勤勉手当 0.05ヶ月(4.75ヶ月 4.70ヶ月))

- 2 2月補正予算 11,008百万円 ほか**に繰越明許費** 46,207百万円

国の2次補正予算に盛り込まれた公共事業等について、国の認証が得られたものを補正するとともに、例年、年度末を控えたこの時期に対応せざるをえない医療福祉対策などの諸事業について所要の予算を措置しました。

一方、県税収入が現計予算を上回る(29億円)ことが現実になったことに加え、地方交付税や宝くじ収入なども現計予算を上回る見込であることから、予定していた減債基金の取崩しを一部(90億円)取り止めるなど、将来の財政運営にも配慮しました。

公共事業、直轄事業の促進(幹線道路の整備、防災基盤整備、県営ほ場整備等)

県立学校・保育所の前倒し整備

公共車両・緊急車両の優先走行システムの整備(金沢駅西口～新県庁舎)

除雪経費、道路損傷対策
介護保険給付費
美術品の購入
能登空港活性化基金の造成
航空プラザ駐車場の整備

3 専 決

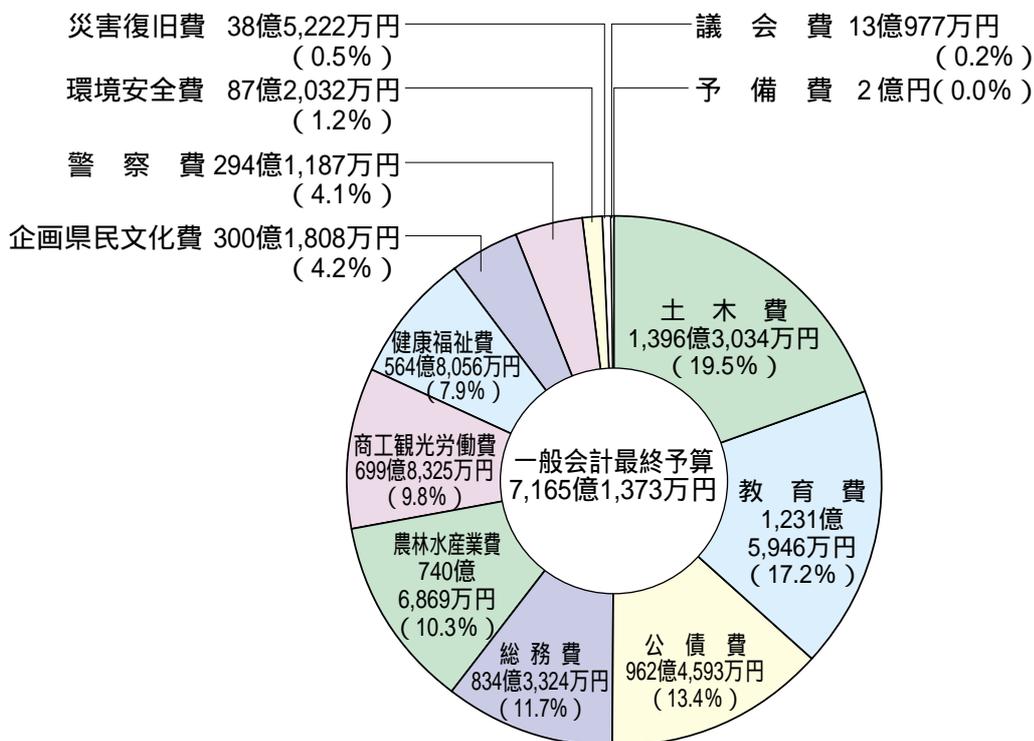
平成14年3月29日付けの知事専決により、歳入予算の補正を行いました。

県税については、法人関係税や県民税利子割などの増収により29億円余を増額し、地方交付税については特別交付税の確保により12億円余を増額しました。

また県債については、交付税措置の手厚い有利な県債の確保が図られたことから、30億円増額することとしました。

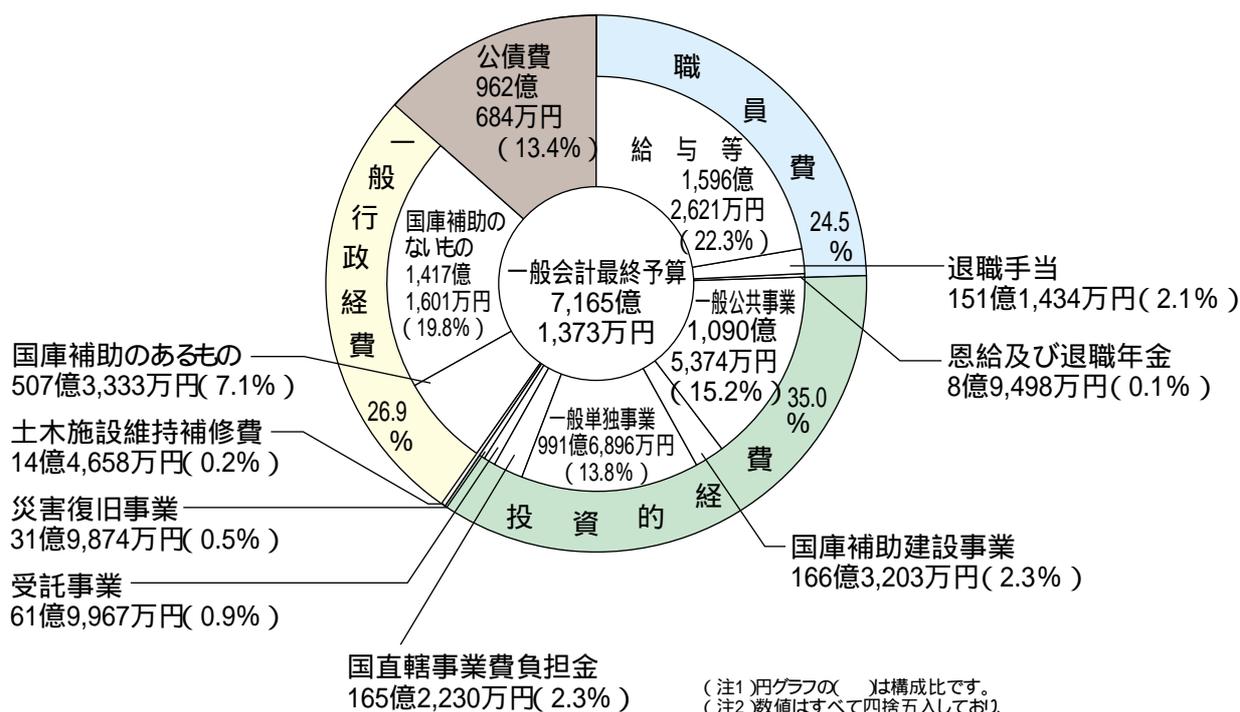
これらの増収等に伴い、後年度の財政負担に備えるため、財政調整基金及び減債基金の取崩し100億円を全額取り止めました。

歳出目的別（款別）最終予算の状況



(注1)円グラフの()は構成比です。
 (注2)数値はすべて四捨五入しており、合計額が一致しない場合があります。

歳出性質別最終予算の状況



(注1)円グラフの()は構成比です。
 (注2)数値はすべて四捨五入しており、合計額が一致しない場合があります。